

シリンダーの種類

当社には、U9シリンダー（ロータリーシリンダー）、PRシリンダー（2WAYロータリーシリンダー・リバーシブルキータイプ）、LBシリンダー（可変タンブラーシリンダー・リバーシブルキータイプ）、JNシリンダー（リバーシブルピンシリンダー）の4種類のシリンダーが用意されています。

いずれのシリンダーも各種キーシステムが可能です。目的、用途に応じて最適のシリンダーをお選びください。

U9シリンダー（ロータリーシリンダー）

■特長

■大規模なキープランが可能

タンブラーは9列9枚で4段変化のものを使用していますのでカギ違いの数は、150,994,944通りにもなり、各種キープランに対応可能です。ますます複雑、大規模になって行く、建物のキープランも、余裕をもって対応できます。

■優れた耐久性

タンブラーはリン青銅製ですので、耐摩耗性に優れ、シリンダー寿命がさらに向上しました。

■優れた防犯性

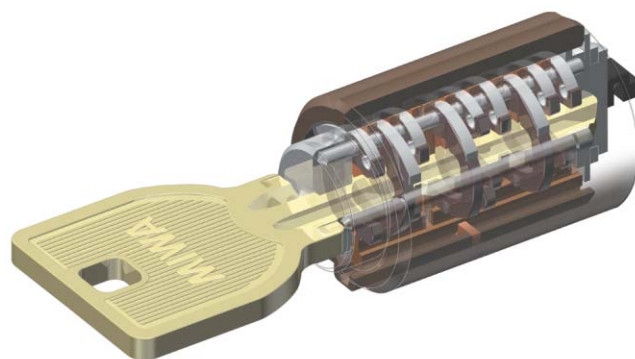
安全性に優れたロータリータンブラーに加え、タンブラーが9枚、キーの切り込み深さが4段変化となり、耐ピッキング性能は、一段と向上しています。

■耐かぎ穴壊し性能に3グレード

シリンダーの耐かぎ穴壊し性能の高低によりG1～G3の3グレードあります。錠の取付場所を考慮して最適な性能のものをお選びいただけます。P.884の錠前の性能表示の耐かぎ穴壊し性能の項目をご参照ください。

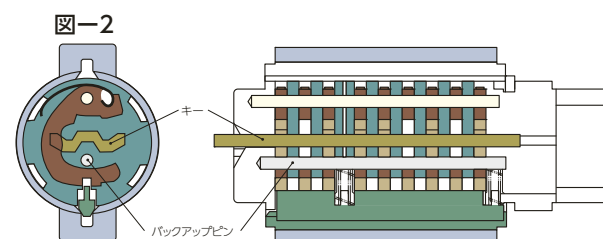
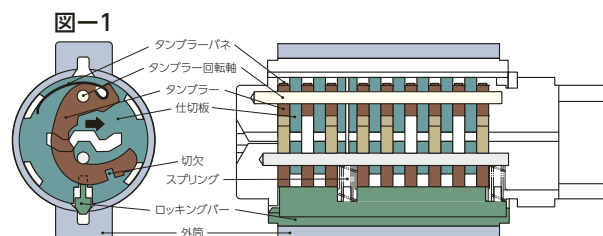
■可能キーシステム

- マスターキーシステム
- グランドマスターキーシステム
- グレートグランドマスターキーシステム
- マルチマスターキーシステム
- 逆マスターキーシステム
- 同一キーシステム
- コンストラクションキーシステム
- ディスプレイキー、エマージェンシーキーシステム



■原理

- ① キーを抜きとった状態では図-1に示すように、ロックンバーがスプリングによって外筒の溝に押しつけられています。また、タンブラーはタンブラーバネによって矢印の方向へ押されています。この状態で内筒を回転させようとしても、(タンブラーの切欠がロックンバーの上方面にないため) タンブラーに阻まれて、ロックンバーは上方へ上がることができず、内筒を回転させることができません。
- ② 標準の子カギ(合カギ)を差し込むと、タンブラーはキーのきざみによって押され、切欠がロックンバーの上方面にくるまで回転、整列します。この状態で内筒を回転させようすると、溝とロックンバーとのテーパによって、スプリングに抗してロックンバーが上方に押し上げられ、内筒を回転させることができます。



キーウェイ形状



U9キー形状